



花乱れ咲く柏陽

恵庭市立柏陽中学校 校長室から

令和7年3月14日（金）20号

校長 前田 真志

<第44回卒業証書授与式が終わりました。>

昨日、令和6年度第44回卒業証書授与式を終えることができました。あいにくの雨模様から、陽ざしを受ける一日となり、104名の生徒の巣立ちの時を見ようと、多くの保護者の方に御来校いただきました。ありがとうございました。

私から、生徒一人一人に証書を渡すことができたことをとてもうれしく思いました。生徒の過ごしたこの3年間は、まれにみる感染症に翻弄された日々もありましたが、卒業生する生徒の輝かしい姿に、保護者、御来賓、地域の皆様と共に感激を覚えたところでございます。

会場には、御来賓として長谷文子恵庭市議会議員、小橋薫市議会議員、山口晃弘教育委員会教育部次長、茶園利紀若草小・柏陽中学校運営協議会（CS）委員長をはじめ、各町内会長の皆様などお越しいただきました。この場を借りて改めて御礼申し上げます。

式の中の「交歓の詩」の場面では、在校生を代表して現生徒会長から送辞と「あなたへ」の合唱、卒業生を代表して全生徒会長から答辞と「正解」、さらにはサプライズで、3学年部の先生方へ「たしかなこと」の歌のプレゼントとメッセージがあり、温かな雰囲気の中式を終えることができました。

104名は義務教育を離れ、高校という新たな環境に身をおきます。その中で、「信ずる自分になる。」「なりたい自分になる。」「やりたいことをやりきる」を念頭にがんばってほしいと思います。高校3年間は、今まで以上に短く感じる期間かもしれません。ぜひ、柏陽中で身につけたことを礎にして飛躍して欲しいと思います。

これからも、卒業生に対して保護者、地域の皆様の変わらぬ御支援をお願い申し上げます。

<アンバサダー、ありがとう>

「アンバサダー」は本校の学校便り等を町内会にお届けに上がる役割を担ってくれる生徒のことです。

この一年間8名の生徒がその役割を果たしてくれました。ポストへの投函がほとんどであったため、アンバサダーと各町内会の方とお話しする機会がありませんでしたが、学校と地域を結びつけるこの働きの重要性を受け止めて、動いてくれた生徒には感謝です。

3月10日（月）の昼休みに、校長室において、校長から御礼の一言とわずかながらの図書カードを手渡しました。笑顔で一年間を振り返っていたことが印象に残りました。ありがとうございました。

